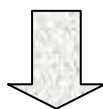
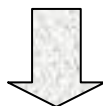


提案募集及び今後の予定について

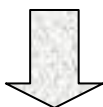
3月31日 中間報告書に対する構成員からの意見締切



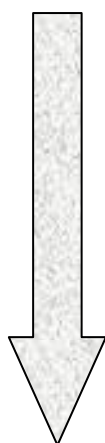
4月上旬 中間報告書を踏まえた具体的なワイヤレスブロードバンドシステムについての提案募集開始(別紙)



5月中旬 提案募集締切



6月から 研究会における提案発表



スペシャルインタレストグループ(SIG)
によるシステムの具体化の検討

夏以降 具体的システム案について研究会に報告、議論

「ワイヤレスブロードバンド推進研究会中間報告書」への提案募集について

1. 提案募集の趣旨及び提案の扱い

これまで、ワイヤレスブロードバンド推進研究会(以下、「研究会」という。)では、国内外のワイヤレスブロードバンドサービスの提供状況等を把握するとともに、ワイヤレスブロードバンドに関する基本的な視点、今後のニーズ要素及び利用シーンの検討を行い、これを満たすシステムの要件の検討を行い研究会中間報告書として取りまとめました。

今後は、将来システムの具体化により、どの周波数帯においてどれだけの周波数幅が必要になるのか、また、ワイヤレスブロードバンド普及推進の問題点やその解決策等について検討していくことにしています。

そこで、今後の検討に資するため、今回の中間報告書の公表にあわせ、利用シーン、システム要件に対応して、今後具体的に計画又は想定しているワイヤレスブロードバンドのシステム、その具体化に必要な周波数帯及び周波数幅等について、広く提案を募集することとします。

なお、今後必要に応じて研究会で意見陳述の機会を設ける場合があります。また、研究会構成員及び提案提出者等により、SIG(スペシャルインタレストグループ)を立ち上げ、ご提出いただいた具体的システムについて、必要な要件等のブレイクダウンを図ることも予定しています。

2 提案募集対象

今後具体的に計画又は想定しているワイヤレスブロードバンドのシステム、その具体化に必要な周波数帯及び周波数幅等(「ワイヤレスブロードバンド推進研究会中間報告書に対する提案提出フォーマット」の事項)

3 募集期限

平成17年 月 日()17時必着

4 募集方法等

別添の「ワイヤレスブロードバンド推進研究会中間報告書に対する提案提出フォーマット」により、電子メール、ファクシミリ又は郵便により、下記連絡先に**平成17**

年 月 日()17時必着でお送りください(日本語で作成願います。できる限り電子メールにてお送りください)。

提出された提案等については、研究会の中で公表することがあります。その際、提出された方の氏名(法人等にあつてはその名称)及び所属その他に関する情報についても、公表することがあります。

また、提出された提案等に対する個別の回答は致しかねますので、御了承願います。

5 意見提出先及び連絡先

総合通信基盤局電波部電波政策課(担当:今井周波数調整官、小林)

住所:〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第2号館
10階

電話:03-5253-5876

FAX:03-5253-5940

E-mail:wirelessbb-suishin@ml.soumu.go.jp

ワイヤレスブロードバンド推進研究会中間報告書に対する
提案提出フォーマット

H 1 7

所 属		氏 名()	
住 所 ()			
連絡先	ご連絡担当者氏名 : 電話 : FAX : e-mail :		

法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地をご記入ください。

複数のシステムについてご回答される場合は別々にしてフォーマットに記入してください。(1システムにつき、1フォーマット。)

1 . 計画又は想定している具体的なワイヤレスブロードバンドのシステムの提案

1 .システム名 及び概要	システム名	
	【概要】	

<p>2 .提案するシステムの該当する利用シーン</p> <p>該当する利用シーン(報告書第4章第4節)の に印をしてください</p>	<p>・ユーザーは何処で使えるかを全く意識しなくてよく、また、一度接続されると、車中のような移動中を含めどのような状態においても一定の通信品質が確保(帯域保証)されるサービスを楽しむ</p> <p>・日常の行動範囲内であればどこであろうと、自宅や職場から持ち出したパソコンをストレス無くブロードバンド環境で使うことができるサービスを楽しむ(モバイルホーム、モバイルオフィス)</p> <p>・ある特定地点でのみで利用可能であることを意識して利用するものであり、そこに行けば簡単にかつ多様なブロードバンドサービスを楽しむ</p> <p>・有線によるブロードバンドの提供が困難な家、職場、施設等において、有線と同等に近い条件でブロードバンドサービスを楽しむ</p> <p>・近距離にある無線機器同士が自動的に最適なネットワークを構築し、利用者が機器同士の通信を意識することなくこれを利用</p> <p>・移動する無線機器同士が自動的に瞬時にかつ優先的にネットワークを構築し、利用者が機器同士の通信を意識することなくこれを利用</p> <p>・災害等の非常時に、どのような端末でも確実に接続し、同報性を有したネットワークを構築し、利用者が機器同士の通信を意識することなくこれを利用</p> <p>・その他〔</p> <p>その他の利用シーンを提案する場合は、該当するニーズ要素を下から選び(複数可)ご記入ください。 〕</p> <p>ユーザーが場所を意識することなく、どこでもアクセス可能な無線通信</p> <p>必要に応じてインターネットに常時接続が可能となる無線通信</p> <p>所要の通信品質を確保することができる無線通信</p> <p>有線よりも簡易に接続を確立するための近距離無線通信</p> <p>瞬時にアドホック的な無線通信網を構築するための無線通信</p> <p>有線での条件不利地域の通信回線を安価に確立するための無線通信</p> <p>瞬時に同報的に行うことが可能な無線通信</p> <p>その他 〔 な無線通信 〕</p>
---	--

3-1. 該当するシステム要件 (報告書 ページの表 4-1 のシステム要件と差異があるものについて記入してください)	項 目	要 件
3-2. 該当する無線伝送技術の要件 (報告書 ページの表 4-1 の無線伝送技術の要件と差異があるものについて記入してください)	項 目	要 件

<p>4 提案システムに関する事項</p>	<p>1．想定される導入時期、波及効果等</p> <p>2．想定される具体的な利用イメージ</p> <p>3．サービス提供形態</p> <p>4．システムの導入に向けて想定される課題</p> <p>5．国内・国外における研究開発・標準化動向</p>
<p>5 システムの具現化に必要な周波数帯及び周波数幅</p>	<p>周波数帯_____ Hz 帯</p> <p>周波数幅_____ Hz</p> <hr/> <p>【理由】(算出根拠など)</p>

２．その他中間報告書の内容に関する意見がございましたらご記入ください。

頁	章	節	意見

３．其他のご意見、ワイヤレスブロードバンドに関する参考情報等がございましたらご記入ください。